

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立加賀屋小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	住之江区
学 校 名	大阪市立加賀屋小学校
学 校 長 名	高田 博史

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立加賀屋小学校では、第6学年 34名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立加賀屋小学校の結果概要

本校の平均正答率は、国語60%、算数58%であった。全国平均（国語60.9%、算数56.4%）と比較すると、国語はほぼ同水準、算数はやや上回る結果であった。また、大阪市平均と比較しても、国語・算数ともに上回っており、全体として基礎的・基本的な学力が定着していることがうかがえる。領域別に見ると、国語では「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「読むこと」、算数では「数と計算」「変化と関係」「データの活用」で全国平均を上回った。一方、国語の「話すこと・聞くこと」、算数の「図形」や一部の測定・情報の読取りに関する問題に課題が見られた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】漢字や語句に関する知識の定着が見られるとともに、文章を読み取って内容を理解し、自分の考えをまとめる力が身に付いている。特に、文章を読んで理解したことを自分の経験と結び付けて考えをまとめる問題や、文章中の情報を整理して読み取る問題では高い正答率であった。一方で、資料や情報を活用しながら自分の考えを相手に分かりやすく伝えることや、話の構成や表現を工夫して発信することに課題が見られた。今後は、根拠を明確にして考えを伝える活動や、目的や相手に応じて表現を工夫する学習の充実が必要である。

【算数】「数と計算」「変化と関係」「データの活用」の領域において全国平均を上回り、基本的な知識及び技能の定着が見られた。また、既習事項を活用しながら筋道を立てて考える力も一定程度身に付いている。一方で、図形の構成や体積の意味を理解する問題、表や資料から必要な情報を整理して活用する問題では課題が見られた。今後は、具体物や図を用いた学習活動を充実させるとともに、多面的に考え、根拠をもって説明する力の育成を図る必要がある。

質問調査より

「自分にはよいところがある」と肯定的に捉えている児童の割合は全国平均を大きく上回っている。また、「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人に相談できる」と回答した児童も全国平均を上回っており、安心して学校生活を送ることができる環境づくりが進んでいることがうかがえる。さらに、友達との話し合いを通して考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりできていると回答した児童も多く、協働的な学びが定着している様子が見られる。一方で、読書時間については「全くしない」と回答した児童の割合が高く、読書習慣の定着に課題が見られる。また、家庭学習の時間についても個人差が大きく、自ら学ぶ習慣のさらなる充実が必要である。

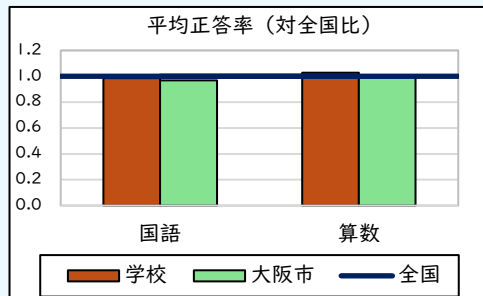
今後の取組（アクションプラン）

学力向上支援チーム事業を活用し、国語では文章や資料から必要な情報を読み取り、根拠を明確にしながら自分の考えを表現する力の育成を図る。算数では、図や表、具体物を活用しながら考える学習を充実させ、数量や図形の性質を多面的に捉え、課題を解決する力を伸ばす。また、朝読書や図書館活用の推進、家庭との連携による学習習慣の定着を通して、主体的に学ぶ力の育成に取り組む。さらに、「個別最適な学び」や「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、教員のICT活用指導力の向上を図るとともに、ICT機器を活用した協働学習や探究的な学習活動の充実を進める。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

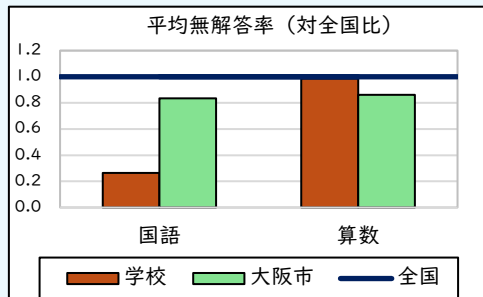
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	60	58
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



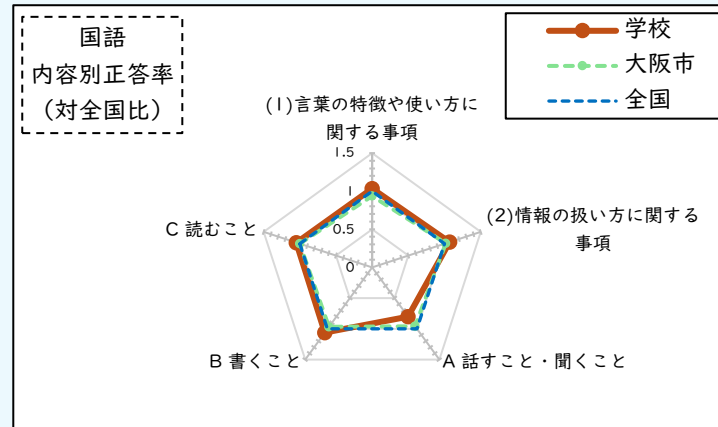
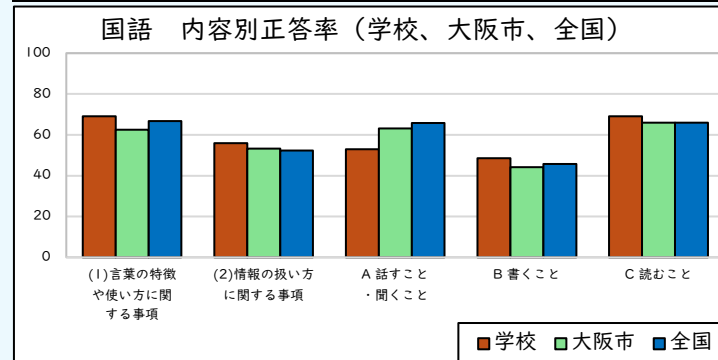
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	0.9	3.2
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



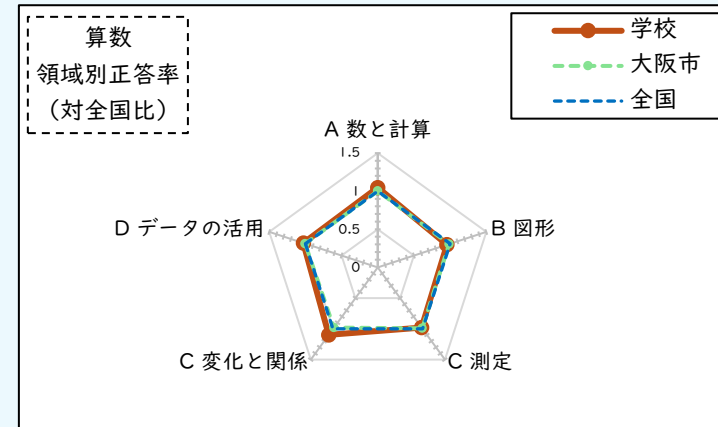
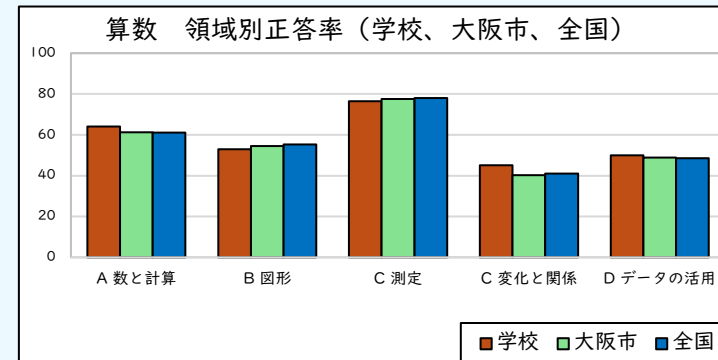
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	69.1	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	55.9	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	52.9	63.1	65.8
B 書くこと	2	48.5	44.2	45.7
C 読むこと	2	69.1	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	64.0	61.2	61.1
B 図形	4	52.9	54.5	55.3
C 測定	1	76.5	77.5	78.1
C 変化と関係	3	45.1	40.3	41.1
D データの活用	4	50.0	48.8	48.6



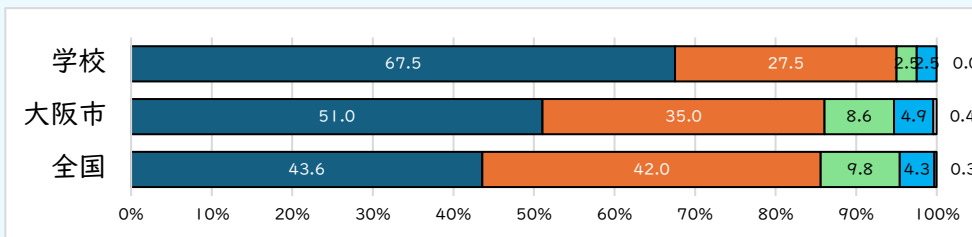
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

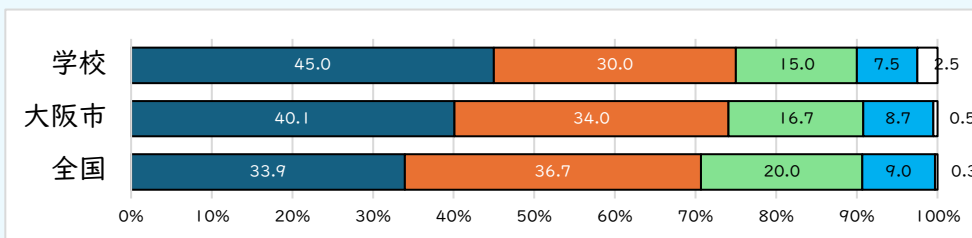
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



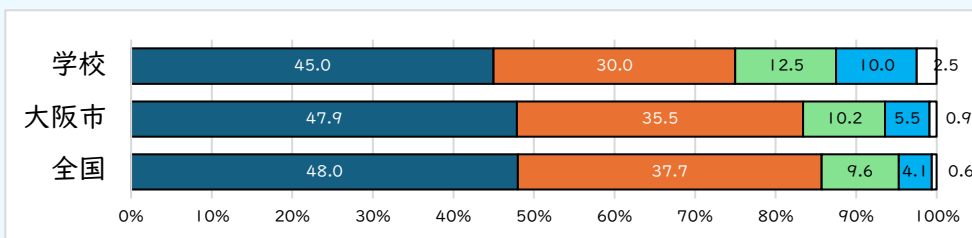
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(13) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



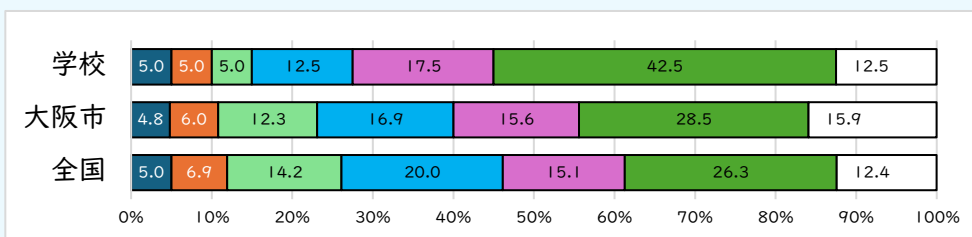
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(15) 学校に行くのは楽しいと思いますか



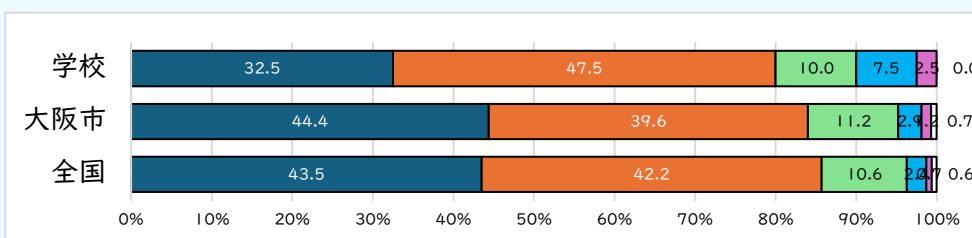
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(26) 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



1 2時間以上
2 1時間以上、2時間より少ない
3 30分以上、1時間より少ない
4 10分以上、30分より少ない
5 10分より少ない
6 全くしない

(42) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

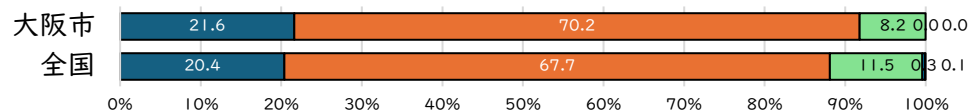
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(26)

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

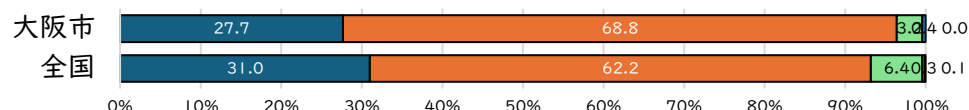


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(29)

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

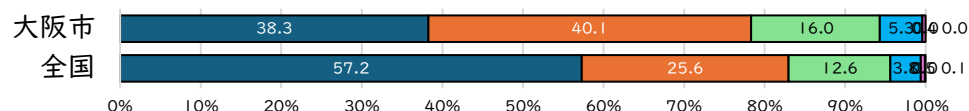


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(60)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

【学校の回答】 4 週1回以上

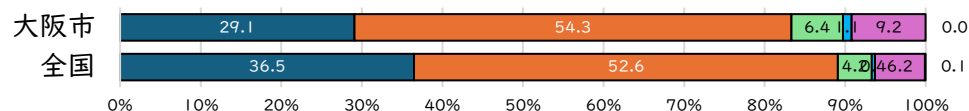


- 1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）
- 2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）
- 3 週3回以上
- 4 週1回以上
- 5 月1回以上
- 6 月1回未満

(79)

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まりましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

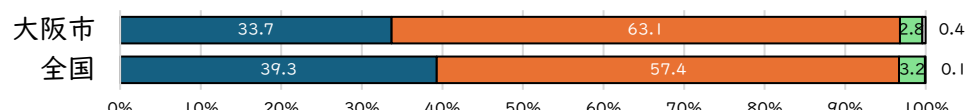


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない
- 5 取組を行わなかった

(84)

令和7年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

【学校の回答】 1 よく行った



- 1 よく行った
- 2 行った
- 3 ほとんど行わなかった